

歳末特別警戒の実施



12月の防犯対策

令和3年12月1日発行
（公社）滋賀県防犯協会



県下各地で歳末特別警戒がスタートしました。ようやくコロナウィルスの感染対策が緩和されましたが、第六波が懸念されています。マスク、手洗いなどの基本的な感染対策は続けていきましょう。

年末年始は何かと忙しく外出する機会が増えるとともに、警戒心が薄れがちになります。

特に住宅侵入犯罪やひったくりなどに注意しましょう。



「在宅中、泥棒とバッタリ」

空き巣は昼間の家に人がいない時間帯を狙って侵入するのがこれまでの通例でした。しかし、コロナ禍になって外出自粛でテレワークやオンライン授業に集中していた人が日中自宅に侵入してきた泥棒と鉢合わせになる事案が近隣府県で発生しています。

泥棒は家に誰もいないと思って侵入していると考えられますが、「家にいるからといって泥棒に狙われることはない」と油断してはいけません。滋賀県でも、在宅中に泥棒に侵入される「居空き」といった手口が前年より増加しているのです。



◎ 在宅中の泥棒と鉢合わせを防ぐ方法

- ① 在宅中もドアや窓に鍵をかけ、補助錠も活用する（補助錠は、玄関ドア用、サッシ戸用で1500円程度で販売されています。）
- ② 照明やテレビを付けたり音楽を流したりし、家に人がいる気配を出す
- ③ 家の周りを点検し自分が泥棒ならどうやって侵入するか考え、その対策を取る
ことが勧められています。
また、泥棒と鉢合わせした場合はどうしたらいいのか？「まず刺激しないこと」。
怒鳴ったりしてパニックにさせると暴力を振るわれる可能性があります。

● 歳末に発生が心配される「ひったくり」の発生傾向

- 午後6時から午前0時の間に多く発生しています。ただし、年末は昼間に大金を持ち歩く人が多いことから昼間の発生が多くなります。
- 被害者の9割は女性で、最も多いのが60歳以上、次に多いのが20歳代です。
- 被害の8割は、犯人が後方からやってきて追い越しざまにバッグ等をひったくるパターンです。



◎ 被害を防ぐには

- カバンや袋などは車道と反対側の手に持ちましょう。
- 自転車やバイクの前かごにはひったくり防止用ネットを取り付けるのがお勧めです。
- スマホを見ながら歩いたり、イヤホンで音楽を聴きながら歩くのはやめましょう。
周りに注意ができません非常に危険です。

◎ 事業者の皆さまに朗報です!!

無料で「標的型メール攻撃」を体験してみませんか？

滋賀県警察（サイバー犯罪対策課）ではシステムを導入し、体験型サイバーセキュリティセミナーを開催できるようになりました。

パソコンを用いて最大60人に対し、実際にランサムウェア等のウイルス感染や標的型メール攻撃を体験していただき、セキュリティの考え方や対策方法を説明します。費用は無料です。出張OKですのでお気軽にお問い合わせください。

※ 事業者・団体を狙ったサイバー攻撃（ランサムウェア被害）が増加しています。

ランサムウェアとはパソコン等の端末及びネットワーク接続された共有フォルダ等に保管されたファイルを暗号化して使用不能にする、又は画面ロック等で操作不可とするウイルスの総称で、復旧すること引き換えに金銭を要求することから「身代金要求型ウイルス」とも呼ばれています。

◎ 優良防犯電話で詐欺撃退キャンペーンが間もなく終了します。

詐欺電話防止に最も有効な優良防犯電話購入を補助しています。
電器商業組合店43店舗にご注文いただくことで2000円を割引ぎ、取付け・設定まで店側が行います。

この事業が200台限定で残り70台となり、12月中で終了します。新聞記事等でもご存知の通り詐欺電話が増加しております。ぜひ、この機会に対策を強化されてはいかがでしょうか。

